

平成15年度新規箇所 評価結果

事業地区名	補助136号線関原・梅田地区	都市名	東京都足立区	施行者	足立区
事業の概要	<p>本事業は、足立区地域防災計画（震災対策編）に基づき、広域避難地である足立荒川北岸河川敷緑地一帯に住民を安全に避難・誘導するため、補助136号線周辺の不燃化を促進することにより、避難路、延焼遮断帯としての機能を確保し、当該地区の防災性の向上を図るものである。</p>				
目的・必要性	<p>当地区及び周辺地区は、木造住宅等が密集し、地震等に対して脆弱な都市構造となっている。このため、避難路周辺の建築物の不燃化を促進することにより、震災時等における住民の避難安全性を確保し、都市構造の防災性を高めていく必要がある。</p>				
費用便益費	B/C=4.8	費用	1,045百万円	便益	4,990百万円
効果等	<p>本事業は、補助136号線の南北の市街地における延焼遮断帯として、また、北側市街地における安全な避難を確保する主要な路線としての効果を有し、地域の防災性の向上が図られる。</p>				
関係自治体の意見	<p>当地区では街路事業が東京都により進められており、それに伴う建物の更新に併せて不燃化を促進することにより、円滑かつ効率的に防災性の確保が図られることから、都市防災不燃化促進を導入する最も効果的な時期であると考えられる。</p>				
事業概要図					